

目次

光への道

ホワイト・イーグルの靈示

第一章 道 I

前おき 20

道はそれぞれ人により違う。しかしすべて善 22

知識だけでは人の成長はない 23

池に落ちて知る靈的真理 25

魂の誕生から、目覚めに入るコース 28

神に至る道は人に代わって貰えない 31

第二章 道 II

人間の魂は、育ちゆく子供のようにだ 37

愛こそ光を自己の中に満たす元 39

辛酸の旅をへて、天空に見る捨身の十字架（最初のイニシエーション） 41

人生小学校の教科目の一つ、識別 44

人は人を裁くことは出来ない 46

光の十字架を見て後、普遍愛の第二段階へ 48

一つの生涯に多くのイニシエーションも可能 49

第三章 道 III

- この単純な真理 55
- 人が靈的成長の道を拒否する二つの理由 56
- 梯子の天辺からでも人は落ちる 59
- 自己放棄の準備をしなさい 60
- 放棄とは何か、その本当の意味 62
- 神の国を開く鍵は心臓にある 65
- 本当の愛とは？ 67
- 本当の愛とは、どうすることか 69
- 小さいけど、偉大な愛 70
- 動物と植物への愛 72

愛とは内在の光への敬意である	74
大事なことは愛の生活実践	75

第四章 道 IV

バラの花は神人のシンボル	82
栄光の冠さえも捨てよ	83
正しいチャクラの開き方	86
危険を伴うチャクラの開き方	87
深遠の道を進む者の心得るべきこと	88
用意のできた人の進む道	91
白い水蓮——その自己放棄のシンボル	93

第五章 道 V

- 人類に二つのタイプのイニシエーションあり 99
- 万人がうける、生活の中での小イニシエーション 100
- 大イニシエーションの概要^{アウトライン} 101
- 小さな光から巨大な光へ人間の成長 102
- 道を行く者は焦ってはならない 105
- a. 四大の学習は一朝にして成らず
- b. 時の翁の知恵に学べ
- イニシエーションと、落とし穴 107
- イニシエーションに入るためのテスト 109
- 〈体・魂・霊の三面で、感情・識別・へりくだりのテスト〉

瞑想の効果 113

四大元素のコントロール 114

風の元素の学習——友愛 116

火の元素の学習——愛、魔力 117

水の元素のコントロール——平和 120

土の元素の学習——奉仕と犠牲 121

イニシエーションが来た時 122

第六章 再臨

地球に神の計画の実現の日が近い 128

神を信じる者が、神の計画の実現を確信する

日常の行為と想念を正せば、自己が解放できる	130
キリスト再臨とは何か	132
日常生活の中にイニシエーションがある	135
ロッジでのイニシエーションも、日常生活が大切	137
正しい瞑想が意識の目を開く	139
人生の目的は、すべてのいのちと兄弟になること	140
人間の意識の進化の階段	143
太陽ロゴス意識への未来	145
秘教学校に入るための厳しいテスト	147
いかなる目も見なかったことなく、	
いかなる耳も聞いたことのないアクエリアス時代	148

第七章 人間——人間性と神性

- 人は肉体も神の形 155
- 肉体は宇宙の縮図 156
- 心臓チャクラが神の火花の御座所 157
- あなたは地上に神性の花を開く使徒 159
- 人は一人ではない、類魂のこと 161
- 人は神の御子 164
- 光と闇、父と母、そして完全な息子 166
- 女性と男性の役割 170
- 結語 171

第八章 ブラザー
兄弟の道

聖白色同胞団のことなど 176

同胞団の中での生活 180

なぜ厳しい鍛練が人間には必要か 181

準備できた者の絶え間ない仕事 185

真のブラザーの歩く道 188

神はビター一文の借銭もなさらぬ 190

第九章 やさしいブラザーの声

寛容、柔和、愛 195

		真実のものと、真実でないもの	198
		カルマの変容	200
		素朴さ	203
		私は目を上げる	205
		私は道である	208
		自己自身に真実であれ	211
		闇からの解放	214
	信		216
	訳者あとがき		220